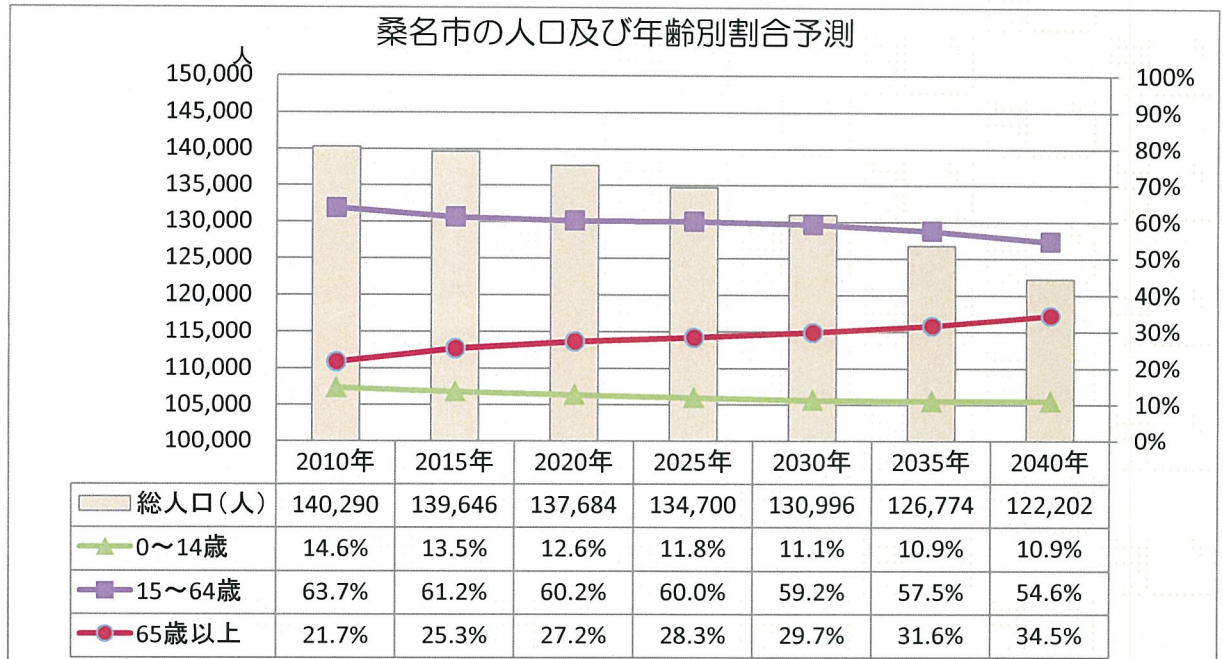


## 地域状況について

## ① 桑名市の人口予測

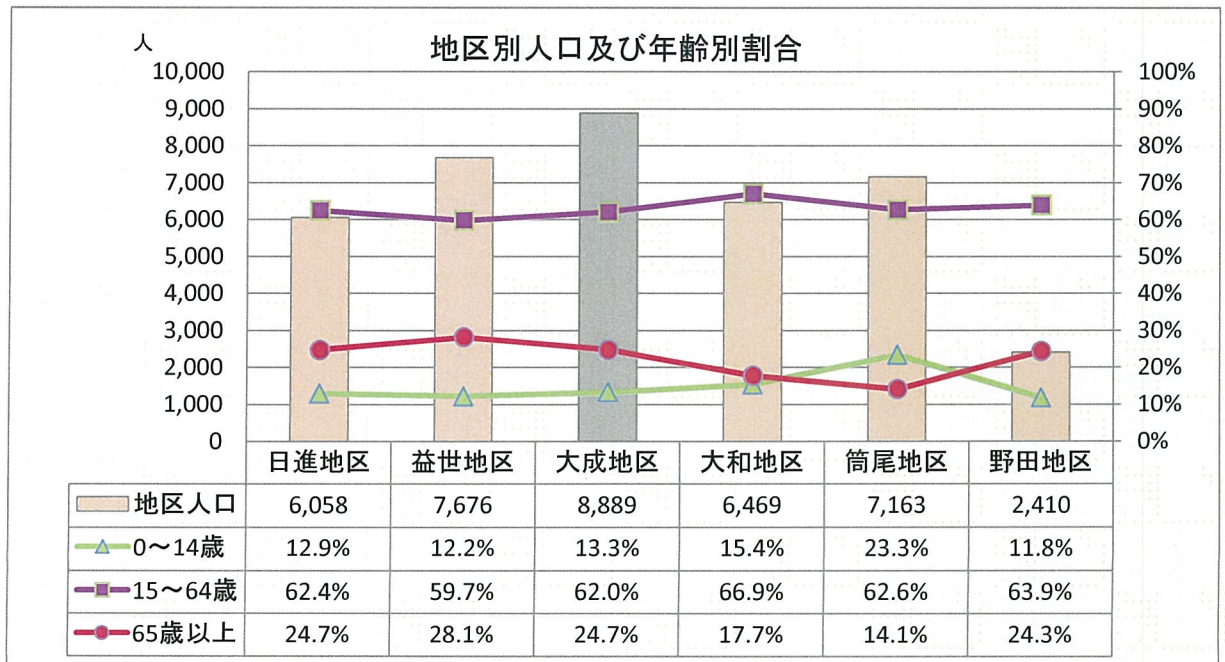


(国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月推計)

国立社会保障・人口問題研究所が公表しております平成25年3月推計での桑名市の2040年までの年齢別予測では、市の人口は減少傾向が続き2040年には、2010年の140,290人から、12.9%、18,000人余少ない122,202人が推計されています。

年齢別割合は、14歳以下は14.6%から3.7%減の10.9%に、15から64歳では63.7%から9.1%減の54.6%となりますが、65歳以上は21.7%から12.8%増の34.5%と大きく増えています。人口構成割合は、2010年の5人に1人から、3人に1人が65歳以上の高齢者となることが予測されています。

## ② 大成地区の人口状況



(桑名市の世帯数と総人口 平成25年3月末現在)

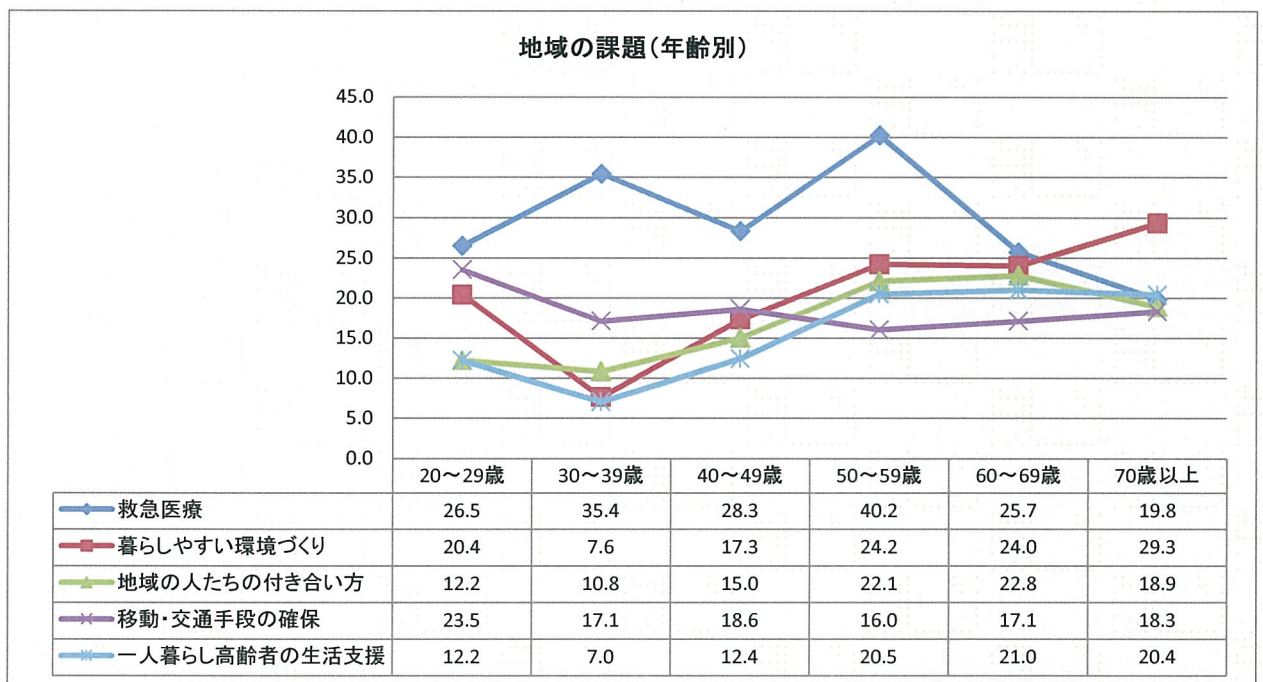
大成地区の人口及び年齢別割合は、大成地区が桑名市総合計画における土地利用構想では居住ゾーンに位置づけられていることから、他地区で居住ゾーン（一部市街地再生ゾーン含）となっている複数の地区と比較しました。

古くからの居住地区である日進地区、益世地区より人口は多いものの、ほぼ同様の構成割合となっており、隣接の大和地区は、新西方地区など一部新しい住宅地があり 65 歳以上の割合が 17.7%と低い割合となっています。

大山田団地内の筒尾地区と野田地区との比較では、新しく開発された陽だまりの丘地区を含む筒尾地区は 14 歳以下の割合が高く、65 歳以上は 14.1%と低くなっていますが、初期に開発された野田地区は、14 歳以下が他の地区より低く、65 歳以上も古くからの居住地区と同様の割合となっています。

桑名市の人口予測と比べると、大成地区の年齢別割合は 2015 年の予測とほぼ同じであり、今後、桑名市と同様の年齢別割合で推移することが予測されます。

### ③ 地域福祉アンケート



（桑名市地域福祉に関する市民アンケート結果報告書 平成 25 年 3 月）

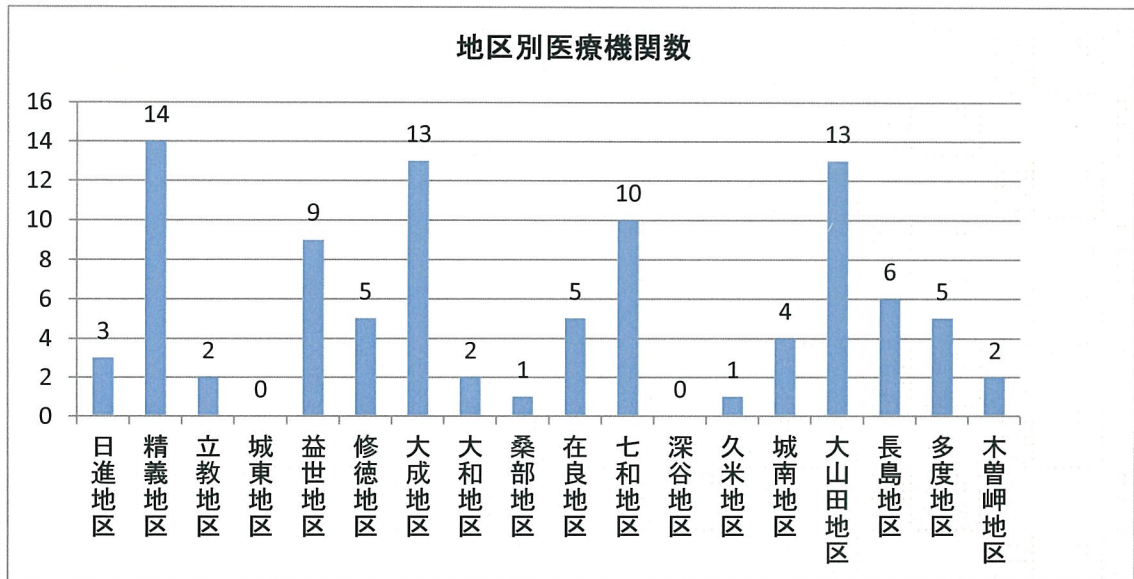
桑名市は、福祉に対する意識、住んでいる地域の課題など地域に対してのニーズ及び考え方を把握するため、平成 24 年 11 月に、20 歳以上の市民(3,000 名 有効回答 1,404 名 46.8%)を対象にアンケートを実施しました。

このアンケートでは、地域の課題についての設問が設けられており、報告書では、地域の課題として、「救急医療」が 28.3%と最も高く、次いで「障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり」(21.9%)、「地域の人たちの付き合い方」(18.3%)、「移動・交通手段の確保」(17.9%)、「一人暮らし高齢者の生活支援」(17.2%)などの順となっています。

これらの課題を、年齢別に表示しましたが、「救急医療」、「移動・交通手段の確保」については各年齢層で高く、「障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり」、「地域の人たちの付き合い方」、「一人暮らし高齢者の生活支援」の課題が年

齢に比例して高くなっています。これらは高齢者の意識が高い内容であり、また、回答者の平均年齢（56.1 歳）も高いことの影響もあると考えられます。

#### ④ 地区別医療機関



（桑名医師会HP）

地区別の医療機関数では、大成地区には 13 医療機関があり、他地区と比較して多く、市街地、住宅団地地区以外の居住ゾーンでは最も多い医療機関があります。

しかし、桑名西医療センターが位置する、高塚町、北別所には他の医療機関はなく、多くの医療機関は、県道桑名東員線沿いに、桑名西医療センターを囲むように位置しています。



## ⑤ 交通機関

### ・三重交通

| 交通機関 | 路線  | 行き先 | 便数 |
|------|-----|-----|----|
| 三重交通 | 城南線 | 桑名駅 | 3便 |

### ・コミュニティバス

| 交通機関 | 路線     | 行き先   | 乗降者/日  | 便数 |
|------|--------|-------|--------|----|
| K-バス | 東部ルート  | 桑名駅   | 13.5 人 | 5便 |
|      | 北部Aルート | 桑名駅   | 17.0 人 | 4便 |
|      | 北部Bルート | 桑名駅   |        | 4便 |
|      | 西部北ルート | 大山田団地 | 7.9 人  | 6便 |
|      | 西部南ルート | 赤尾台   | 6.9 人  | 6便 |

### ・鉄道

桑名駅（JR東海、近畿日本鉄道）

播磨駅（養老鉄道）

大成地区の交通機関は、バスは三重交通とコミュニティバスが運行されています。三重交通の桑名駅と西部の大山田地区を結ぶ路線は便数も多いですが、星川西別所線、県道桑名東員線を経路としており、桑名西医療センター地区周辺には、1路線が1日3便あるのみです。

コミュニティバスは、桑名駅、西部地域に一定の便数が運行されていますが、1日の乗降者数も多いとはいえない利用状況となっています。

鉄道については、桑名駅西口まで徒歩15分の距離で、通勤、通学に利便性がある地区である。養老鉄道播磨駅は大成地区北部に位置しており、桑名駅へのアクセスへの利用は限られている。